

## 第二専門診療部

### (1) 外科 (医長 本名敏郎、黒田達夫)

#### 活動状況

平成 14 年 3 月 1 日の国立成育医療センター開設以来、外科は旧国立小児病院時代の 2 つの外科チームをひとつに統合して活動してきた。週 2 回の外科カンファレンスおよび胎児画像カンファレンス、腫瘍カンファレンス、周産期カンファレンスなどを通して臨床活動における内外の連携を強化するとともに、週 1 回の抄読会などレジデントの教育にも配慮した。

当院における新たな業務として、鼠径ヘルニア手術などにおける日帰り手術を本格化させ、また当センターの救急医療の一角を担い、24 時間 365 日にわたり常に緊急手術が可能な体制を確立させた。

開院初年度における手術では、従来の小児外科疾患に加えて、生体腎移植を再開して初年度の 2 症例で成功したほか、関連診療部門との連携により胎児診断の横隔膜ヘルニア症例に対して新たな管理・治療を導入した。さらにその延長として当センターの胎児外科チームに加わり、胎児手術に備えている。また悪性腫瘍に対する術中開創照射併用根治手術や、気管狭窄症に対するスライド気管形成術などの大規模な手術を行ってきたほか、他院にて治療に行き詰まった症例を多数受け入れてその根治に成功し、高い評価を受けている。一方旧小児病院でも一部扱っていたキャリアオーバー例、成人例の手術治療例も 30 歳代後半に及び、症例数の増加を見つつある。

他方、別記のように研究活動を国内・海外の学会および学術誌上で活発に報告し、開院以来一年あまり、わが国の小児外科学の情報発信センターに相応しい業績を重ねている。